お寺の子ども会 西教寺進徳日曜学校 だより

西教寺蔵本通支坊 2014.5.31 呉市中央 7-7-13 TEL 21-2798 E-mail:nikkou@saikyoji.net

4月 花まつり

去る四月十九日（土）、蔵本通支坊で恒例の合同花まつりを行いました。今年は、六十八名の参加でしたが、保護者が特に多く、合計約百名がにぎやかにお釈迦さまのご誕生をお祝いしました。

実は、四日前の十五日（火）、お寺の前で男が小学生に刃物を見せるという事件がありました。保護者が多かったのは、皆さんがきっと心配されたのでしょう。私どもも異例の厳戒態勢で臨みました。集合解散時間には警察に協力を依頼、出入り口にスタッフがお迎えに立ち、行事が始まったら門を閉め、不審者が侵入したら笛を鳴らすようにしました。何事もなく無事に終わることができ何よりでしたが、物騒な時代になったものです。

ご法話の後は、楽しい出店。今年は「バッティングセンター」が新登場。地面に置いた機械からボールがポンと宙に浮き、そこを上手く打って遠くに飛ばすか、籠の中に入ったら高得点。やってみるとなかなか打てません。結構向きになるゲームです。

それからもうひとつ、今年はとても嬉しいことがありました。会終了後、スタッフで打ち上げをしたのですが、お開きになるころ、誰からともなく今日のご法話（長岡正信さん）の話になりました。「今日は、〈本当の合掌は行動になる〉という話だったなぁ、ワシらも残さずに帰ろうで」「ほうじゃほうじゃ」ということで、注文した食べ物飲み物をひとつ残らずきれいに平らげ、最後に合掌、食後の言葉を言って帰りました。

新登場のバッティングセンター。

合掌もせず、いただきますも言わず、それが当たり前になってしまった現代日本、本当にこれでよいのでしょうか？　また、合掌はしても形だけの私でしたが、「本当の合掌は「行動になる」ということをお聞かせいただき、残さず食べているか、好き嫌いを言ってないか、作ってくれた人に「美味しかったよ」と感謝を伝えているか…、無神経な日常を問い直すご縁をいただきました。

私の経験では、一度やろうと思ったぐらいではすぐ忘れてしまってなかなか身につきません。しかしありがたいことに、今回お寺で学んだ合掌は形だけに終わらずに行動となりました。考えてみると、私たちがその気になったのは、今回のご縁だけではなく、両親やご先祖、どれだけ多くの先達の積み重ねのご苦労があったのだろう、そう考えると、ありがたくて涙が止まりませんでした。

次回お寺の子ども会は、

6月8日（第２日曜日）９時～１０時３０分（少し長め）

ぴょんぴょんガエル・ベビーアバトサウルス・つのこうばこ等、年齢にあわせて折ってみたいと思います。

※６月１５日（日）に予定しておりました田植え体験ですが、たくさんの小学校の参観日（荘山田・明立・本通・港町小学校）と重なっていました。和庄、長迫、呉中央小学校の参観日は別日なのですが、和庄の日程に合わせたら他も大丈夫と高を括っていた私の責任です。田植えを楽しみにされておられた皆さん、誠に申し訳ありませんでした。田植えは来年ということにさせて下さい。

なお、ご都合のつく方で、田植え体験をご希望の方は、お寺の子ども会の町田さんのお父さんがお世話をされていますので、個別にそちらにお申し込み下さい。詳しくは、黒瀬みのり農園のホームページを参考にしてください。
http://www.geocities.jp/kuroseminorinouen/

西教寺６月門徒講法座

「私の歩んだお念仏の道」

６月２６日（木）夜席～２８日（土）朝席

〔朝席〕８時３０分～１０時３０分　〔昼席〕１３時～１５時　〔夜席〕１９時３０分～２１時

講師　**瓜生　崇**　先生

〈**講師プロフィール**〉1974 年東京生まれ。大学在学中の 1993 年に浄土真宗親鸞会に入会。1998 年より同会の専従の講師として布教やインターネット対策にかかわり、2005 年に脱会。その後はエンジニアとして働く傍ら、自身の体験を元に講演活動や大学でのカルト対策、脱会者へのサポートを通じてカルト問題に関わってきた。2009 年より 2012 年まで大阪大学大学院医学系研究科招聘教員。2010 年より JSCPR（日本脱カルト協会）理事。2011 年より真宗大谷派玄照寺住職、真宗大谷派青少幼年センタースタッフ。大阪大学キャンパスライフ支援センター招聘教員。『大学のカルト対策』(分担執筆・北海道大学出版会)、『さよなら親鸞会』（サンガ伝道叢書刊行会）『信仰に人生を奪われないために』（真宗教団連合滋賀県支部）。真宗大谷派滋賀県東近江市玄照寺住職。